

日 時：平成 27 年 7 月 14 日（火）18 時 30 分 ～20 時 5 分

場 所：新屋町会館

対象地区：新屋町

参加人数：20 名

■意見交換（まち・ひと・しごと創生への取り組みについて）

内 容
<p>○プレミアム付き商品券発行事業について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>商品券は皆買えるのかと思ったら、全然買えない人も多く見られた。皆に行きわたるようなもう少しいい方法はなかったか。葉書は商品券購入整理券となっていたので、必ず商品券を買えると思っている人が多かった。</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>仕事で買えない人も多かったので、販売時間を分けるなどの工夫が必要だった。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・市の持ち出し部分が多くなっても大変なので、発行総額 2 億 4 千万円とした。・新聞で他市町村の商品券が即日完売していることが報道されていたため、本市の場合も発売日には朝早くからずいぶんと並んだようで、即日完売となった。・人口に比例して商品券を分けて販売したが、売り切った時間をみると、平賀の方が早く、尾上の方が時間がかかったようだ。・他市町村を参考にし、できるだけ混雑しないよう対応した。もし、今後このようなことがあれば今回の反省を踏まえて対応したいが、国からの補助がないのですぐできるものではなく、来年度もあるのかわからない。買えなかった方にはご迷惑をおかけした。
<p>○ふるさと旅行券事業について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>対象者が市外の方だが、どのように発信・展開するのか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・県外から来た方が市内で宿泊した場合、宿泊費が約 12,000 円程度かかるとすれば、その半額の 6,000 円を市が補助する事業である。・実施時期は、旅行客が落ち込む 11 月から 3 月を予定している。その前に周知することになるが、販売方法はまだ把握していない。
<p>○お出かけ・買い物支援事業について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>平賀地域だけでなく、この期間だけでも碓ヶ関地域へ循環バスを出せないか。</p> <p>（市の回答）</p>

- ・碓ヶ関地域でもその話をいただいたが、バスの借上料が高すぎるという問題がある。
- ・碓ヶ関地域は、経済圏からいって平賀地域よりも弘前市へ行く人が多く、平賀までバスを出しても利用者が多くはないと思われる。
- ・1万円のクーポン券で、何人かで乗りあってタクシーを利用するなどして使ってほしい。
- ・不公平かもしれないが、循環バスは平賀地域だけである。利用状況を見ると、現在も赤字であり、利用者が少ない。
- ・12月末まで200円の運賃を10円にすることで、利用率が変わるのかを試す意味合いもあるので、離れた地域の人たちには不満だろうが、ご理解願いたい。

○駅前イルミネーションプロムナード事業について

(市民からの要望・質問)

イルミネーションの場所はどこか。点灯時間は商店街の営業時間とのバランスはとれているのか。

(市の回答)

- ・実施時期は11月中旬～1月中旬までで、点灯時間は午後5時～11時頃までの予定である。場所は平賀駅から市役所までの400mで、道路の両側を点灯する計画である。商工会と連携をとりながら進める事業である。
- ・イルミネーションは、平賀駅から市役所までをLEDライトで点灯するほか、健康センターも点灯する。
- ・冬ねぶたと併せて実施することで、観光客に来ていただきたいと考えている。
- ・また、イルミネーションを見てすぐ帰るのではなく、とどまって何かをしてもらうことで経済効果が出るようにしたいと考えている。
- ・市のイメージアップになると思われるので、進めていきたい。

○学力向上対策事業

(市民からの要望・質問)

市で長年続けていることで、子どもたちの学力の向上に役立っている事業だと思っている。今後もずっと続けてほしい。

(市の回答)

- ・現在、支援員は17人である。金田小・小和森小・松崎小・平賀東小のような大規模校には2人を派遣し、その他の学校には各1人を派遣している。
- ・先生方の授業をサポートし、授業がわからずとまどっているような子に寄り添い、子どもたちに適切な指導ができるようにしている。
- ・今後もできるだけこの事業を続け、子どもたちの教育に力を入れたいと思っている。

○地方人口ビジョンの策定について

(市民からの要望・質問)

市役所の中でプロジェクトチームを作り進めていくことになるのか。

(市の回答)

- ・国から地方創生の一環として、10月までに地域の人口の推移や将来像を出すことや、今後の人口減少社会への対応策となる総合戦略が求められている。
- ・総合戦略は、創生会議で委員を委嘱して検討してもらっている。人口ビジョンはアンケートをとらなければならないので、業者委託し原案を作成してもらう。

○ふるさと旅行券事業について

(市民からの要望・質問)

対象となる宿泊施設を広報ひらかわに掲載してほしい。

(市の回答)

- ・市内の宿泊可能施設はすべて対象となる。市外から来た方が、平川市内の宿泊可能施設に泊まる際、12,000円以上の宿泊費だった場合に使える。
- ・広報ひらかわは市民を対象としたものなので、別な形で県内外に周知することとなる。

○駅前イルミネーションプロムナード事業について

(市民からの要望・質問)

実施時期について、商工会のイベントであるはしご酒まつりは大勢が参加するが、商工会とすり合わせたうえで決めたのか。せっかく人が多く出る時にイルミネーションが終わっているのは寂しい話なので、ぜひその時期まで実施してほしい。

(市の回答)

- ・当初は年内で終了予定だったが、平成28年1月14日に市制施行10周年記念式典があるので、せめてそこまでは延長することとした。
- ・はしご酒まつりまで踏まえて商工会とすり合わせてはいない。皆さんからの要望が強ければ、2月初めのはしご酒まつりまで延長することは可能だと思う。

○お出かけ・買い物支援事業について

(市民からの要望・質問)

弘南バスが金屋から津軽尾上駅の区間を運行しているが、時間帯があわないためタクシーを利用して買い物をしている人がいる。タクシー代がかかるので、電動車いすを市で用意し、貸し出すことはできないか。

地域福祉センターに電動車いすで来ている人がおり、社会福祉協議会から借りていると言っていた。

以前、むつ市脇野沢地区を訪れた際、市が高齢者を集めて警察と一緒に電動車いすの講習会を開いていた。平川市でも同じようにできないか。

(市の回答)

- ・交通安全の面から、警察との相談が必要となる。電動車いすは歩道を走行するものなので、歩道の整備も必要となる。仮に貸し出すとしても歩道には段差や凸凹があり、安全面に問題があると思われる。なかなか歩道をつけれない道路もある。

- ・むつ市でどのようにやっているか調べたい。
- ・電動車いすについてだが、社協が貸し出しているものではないと思われる。介護保険制度の中で福祉用具の貸与があるので、電動車いすも該当になると思われる。基本的に要介護度2、3の方が対象となる。介護度によってケアマネージャーがその人にあつた介護サービスを組み立てていくので、社会福祉協議会に限らず市内12か所の事業所のケアマネージャーに相談してほしい。
- ・介護保険を使って電動車いすのレンタルをできる方は要介護度2、3の方なので、ヘルパーと一緒にではなく自分だけでお買い物をされる時に使うとなれば、少し違ってくると思われる。

(市民からの要望・質問)

電動車いすを使って、1人でも多くの方が買い物できるのであればいいと思った。

○福祉商品券交付事業、福祉灯油購入費助成事業、お出かけ・買い物支援事業の予算の内訳について

(市民からの要望・質問)

福祉商品券は1世帯5,000円、福祉灯油は1世帯10,000円、お出かけ・買い物支援事業はクーポン券10,000円となっており、さらに循環バスが出る。世帯数やバスの分として予算をどの位みているのか。

(市の回答)

- ・福祉商品券交付事業とお出かけ・買い物支援事業のクーポンは、対象世帯が2,258世帯である。そのうち交付済みが1,558世帯であり、まだ申請していない約650世帯には再度文書を送る予定である。
- ・福祉灯油購入費助成事業は、対象が2,302世帯であり、実際に交付したのは1,942世帯である。この事業は4月末で受け付けを終了している。
- ・お出かけ・買い物支援事業の循環バス予算は、推計となるが450万円程だと思われる。

○お出かけ・買い物支援事業について

(市民からの要望・質問)

乗りあってタクシー利用をしてほしいと言うが、1万円で何往復できるのか。週に1回や10日に1回でいいので循環バスを出し、新屋町入り口のバス停に止まってほしい。それに合わせて買い物するようにできる。車の運転ができない高齢者も多いので、たとえ電動車いすの講習を受けても運転できない。運賃も10円でなくてもいいので、新屋町へ循環バスを出してほしい。

(市の回答)

- ・買い物難民と言われる人たちが今後増えると思われるので、市としても対応を考えていかなければならない。しかし、循環バスの利用者がかなり少なく、ほとんど市の持ち出しとなっている。どれくらいの地域要望があるか調べる必要がある。

- ・5年前にバスの実験をした。金屋～尾上駅前～尾上総合支所～平賀という路線と、日沼～八幡崎～猿賀～尾上総合支所～尾上駅前～新屋町～平賀の2本の路線で運行した。1日2本運行し、約半年実験した。広報でも大々的にPRしたが、利用者は1日平均1人という状態だった。最初は使う人もいたが、だんだん利用者が減っていった。
- ・循環バスは時間帯があわないことがある。買い物支援をどうすべきか市で考えた場合、例えば利用者の人数、時間にあわせてタクシーを出す方が循環バスよりも買い物難民への支援となるのではないか。市で今後何ができるかを検討することになるが、すぐにはできない。調べても利用者が少なければ実現も難しい。

■意見交換

内 容
<p>○市道尾上小和森線の歩道整備について (市民からの要望・質問)</p> <p>新屋町～荒田の通り（市道尾上小和森線）に歩道を整備してほしい。旧尾上町時代からずっとお願いしており、「検討する」と回答をもらうが進捗しない。 この通りは車がスピードを出すため、非常に危ない。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前は県道で県が管理していたため、所在市町村である旧尾上町や旧平賀町が、道路の改良等を県へお願いしていた。現在、県道は大浪バイパスへ移ったので、その通りは市へ移管され、市道となった。そのため、歩道の整備は市が対応しなければならないということになる。 ・道路を作る際に旧町村単位で県へ要望したので、それぞれの駅へ向かうように歩道が整備された。そのため、旧町村の狭間となる箇所には歩道が整備されなかったようだ。しかし、平川市となり、連帯した街並みの形成が期待されるので整備について前向きに検討したい。 ・ただ、道路の新設は補助や起債などの財源措置を考えて対応するが、歩道だけを整備するのは市の単独事業となり、財政的に苦しい状況があったので、今までやりたくてもできなかったのが実情だと解釈している。 ・用地買収や、引座橋の改修には莫大な費用がかかるので、交通量も鑑み、最も廉価な方法を考えなければならない。土地所有者のご理解、ご協力が何としても必要である。 ・新屋町町会から何度も町会要望で出されており、総合整備計画の上位に位置づけて考えているので、今すぐはできないがご理解願いたい。
<p>○新屋町会館について (市民からの要望・質問)</p> <p>新屋町会館の建て替えは平成29年度の計画だと聞いているが、南田中の東公民館が建て替えしないのであれば、新屋町会館の建て替え時期を来年度に前倒しできないか。</p>

(市の回答)

- ・南田中は東公民館の屋根裏の木材が使い物にならない状態であることが判明し、耐震改修から改築に方向転換したいと町会長から申し出があった。今月末の臨時総会で方向性が決定する予定なので、その結論を待つことになる。

○市道尾上小和森線について

(市民からの要望・質問)

新屋町～荒田の道路に関して、市のインフラを考えた場合、雪対策として融（流）雪溝が必要ではないか。歩道の整備が途中で止まっており、市の単費では大変だと思うが、融（流）雪溝とからめて補助を引き出すのはどうか。

(市の回答)

- ・尾上地域は融雪溝が多く、碓ヶ関地域は流雪溝が多い。設置条件は第一に水源の確保である。水温や水量がなければ融雪も流雪もまったく機能しないので、絶対条件である。第二に流末（排出先）の確保である。さらに地形がある。平らな地形の場合、落差がないので水の流れを得るために勾配を側溝で作ることになるため、下流は側溝が深くなり危険な状態となる。
- ・温泉の利用は、常時出っ放しだと温度が下がりにくいので、深さを確保すれば融雪溝としては有効である。しかし、石鹼などが混じったお湯が側溝へ流れると、悪臭の原因になることも考えられる。
- ・もう1つ大事なことは、受益者の皆さんの協力である。融雪溝設置で除雪費の軽減を図るが、設置の際は協力的でも、後々揉めることがある。設置条件として水源、流末、傾斜のほかに、地域の方の協力が必要である。水源確保のため、場所によっては電気でポンプアップして水を流している。その電気料を受益者が負担しなければならないことをご理解願いたい。

○林道整備について

(市民からの要望・質問)

小国の方に町会の山があるので伐採で出かける。いくらか災害復旧したが、もう少し木を寄せることができたのではないかと思った。全部の災害箇所の復旧は難しいと思うが、復旧状況や今後の見通しについてお聞きしたい。

(市の回答)

- ・災害復旧は、まずは農道 700～800 か所を行った。その後林道に移った。すべて復旧していない所もあるだろう。基本的には復旧したと思っているが、林道でも脇に入っていく作業道のようなところはそのままになっていると聞いている。

○まちづくり懇談会の会議録について

(市民からの要望・質問)

市ホームページで会議録を確認しても、「担当課に確認する」や「調査する」と回答した結果についてわからない所がある。広報等で出された意見と結果について周知してほしい。

(市の回答)

- ・結果のフォローは大事なので、HPで詳しく載せるようにする。また、今年のまちづくり懇談会の場で去年の結果についてフォローしている。去年の結果についてお知らせすると、
 - ①市道尾上小和森線の歩道整備は、総合計画の中に入れていくが、かなり時間と経費がかかる。また、現状のU字溝が深いので蓋をかける対応でいいのか、いわゆる歩道を整備すればいいのか色々な意見があるので、町会との話し合いが必要である。
 - ②新屋町公営墓地のトイレの生け垣については、その後、12月まで剪定を待ってほしいという話がでたので、時期をずらして対応した。
 - ③市道金田線の側溝については、距離があるため経費がかかる。電柱を民地へ移設することが可能か調査しなければ対応できない。地権者からの了解が得られなければ難しいので、了解が得られれば総合計画の中に入れ、順を追って対応する。
 - ④新屋町の神社付近の変形交差点については、用地買収が必要となるため難しい。
 - ⑤平川プレスセンターから尾上モータースまでの道路舗装（オーバーレイ）は、距離があるので今のところはテンプラ舗装で対応させていただきたい。
 - ⑥尾上中学校付近の用水路の蓋が開けられず詰まるということについては、現場確認したところ、蓋が開かなくても水は流れるということだった。引座川へつながる方は側溝が入っていないので、多面的機能支払交付金（旧称「農地・水保全管理支払交付金」）で対応していただきたい。

○市道金田線の通学路について

(市民からの要望・質問)

市道金田線と県道金屋尾上線が通学路になっているが、金田線は可変側溝でもないのが危険である。冬場は狭いので、工事が進まないのであれば、黒石警察署と話し合って交通規制する時間帯を設けることができるか。

(市の回答)

- ・県道金屋尾上線は県へ道路拡幅の要望をする。金田線、金屋尾上線ともに用地買収が必要となる。冬は大変なのでできるだけ早く通学路の確保をさせる。

○投票時間について

(市民からの要望・質問)

投票立会人の成り手がいない。期日前投票もあるので、18時頃で終わるように投票時間を短くできないか。18時以降の投票者は多くて4、5人なので20時までやる必要があるのかと感じていた。

(市の回答)

- ・公職選挙法が変わらなければ、よっぽどの事情がない限りできないはずである。たしかに、本当に投票する気持ちのある人は、期日前投票や出勤前には投票所へ行く。投票立

会人が、拘束時間が長く大変な思いをしていることは承知している。

(市民からの要望・質問)

市で独自に決められないのか。

(市の回答)

- ・公職選挙法で決められているので、山間部など特殊な事情がなければ無理だろう。そのため、東部地区や碓ヶ関地域は 19 時までとなっている。